

青年集会 in おかやま 第一部 講演レジュメ (2010・4・17)

演題「仲間たちとともに 学ぶ・つなぐ・変える」

三上 満 (子どもの権利・教育・文化全国センター代表委員)

1. いまの時代、“生きづらさ”の正体はなにか

- 「死ぬまでひとり 死んでもひとり」
秋葉原の青年のこと
- 孤独感・自己否定感のつよい日本の青年
- 「あきらめていた現実・考えないようにしていた“しんどさ”」に向き
合い始めた青年たち
- 「自分はアホや」と思っていたが・・ほんとはそうでなかった
- 青年を使い捨てにするものの正体は何か
マルクスの言葉から学ぶ
- 日本の社会をおおう「異常」
決してあたりまえではなかったのだ

2. 人間らしく生きるとは

- 人間らしさの三つのしるし
①挑むこと
②手をつなぐこと
③おのれを創ること
- 仲間とともによりよい生活めざして挑むこと—ここに人間がいる
- 「私は私をもらいました」—ある高校生からの手紙

3. 今の社会は変えられる

- 理不尽に泣き寝入りせず立ち上がる青年たち
のりこえる「自己責任論」
- 「自分が好きになれる」運動の輪をもっと大きく